

平成 29 年 6 月 22 日（木）15 時 30 分

平成 29 年度第 1 回学校協議会 議事録

（１）校 長 ◎授業の充実

◎進学目標の達成

◎国際科学高校としての質的充実

◎世界で信頼され尊敬される品格と豊かな国際感覚

◎チーム住吉（進学フェア・学校説明会）

について説明

（２）進 路（進路部長）

◎国公立大学合格者数の報告（主な関西の大学合格者数報告）

◎模擬試験についての報告

○入試の改善ポイントを具体的に（委員 B）

・進路の行事、スタディーサポートの活用、情報提供のフィードバック、
進路について考えさせる機会を増やす。（進路部長）

・1・2 年生用自習室の確保 早朝 7 時から（校長）

○勉強の指導者も必要では【教員外のボランティアで】（委員 A）

・「将来的には卒業生にお願いできないか」と考えている。（校長）

・帝陵塾（テスト前土曜日に実施）（校長）

○国公立合格者が増加した原因は（委員 D）

・国公立大学を受験する生徒が増えた。

・夏休み前の懇談で「あきらめさせない指導」を実施。（進路部長）

○私学と国公立大学の質の違いの説明は（委員 A）

・進路行事等で説明している。（進路部長）

○中学校でも教科外での学習支援、自主学習の場所提供等もおこなっている
が。（委員 C）

・住吉に来る生徒は自分で勉強は出来るが見守りは必要（校長）

○モチベーション・動機を与える刺激は年配の我々の仕事では（委員 A）

○人材バンクはおもしろい（委員 E）

○PTA－住高全体の活動、PTAとして何ができるのか（委員 E）

PTAの大学見学会に参加した。生徒も同様の行事があればいいと思う。
（委員 F）

(3) 国際文化科（国際文化科長）

「骨太の英語力養成事業」について

- ・ TOEFL：平成 29 年度は 44 名（1 年生 24 名、2 年生 20 名）参加
90 分授業 20 回 2 クラスの実施
- ・ TOEIC：平成 29 年度は 96 名（1 年生 84 名、2 年生 12 名）参加
90 分授業 20 回 2 クラスの実施

(4) 国際部（国際部長）

「国際交流事業計画」について報告

(5) S S H の取り組み（S S H 担当教諭）

今年度の計画について報告（S S H 担当教諭）

今年度第 3 期の申請をおこなったが指定ならず、経過措置校である。

○第 3 期に特徴的なものを精選してしぼればどうか（委員 B）

課題・・・第 3 期を勝ち取るために

「生徒のために」をもう一度（S S H 担当教諭）

(6) ユネスコスクール活動（国際部長）

「他者への思いやり」という指導を実践している

(7) 生活指導部（生活指導部長）

遅刻指導・みだしなみ指導の実践

- ・ 成長過程の生徒に、自主・自律を言い過ぎでは（委員 A）
- ・ 手放しの自由ではない。（校長）
- ・ 「学校に来る服装・頭髪」を適宜指導している。（生活指導部長）
- ・ 自己責任が持てて、初めて自主・自由・自律だ（委員 A）
- ・ 「住高生としての誇り」を持つことが大切（校長）
- ・ 自治会との話し合い、フィードバックを試してみてはどうか（委員 E）
- ・ 体育祭のアピール・・・全体的に派手になっている（生活指導部長）
- ・ 保護者からは「住高はもっと自由」との意見もある（生活指導部長）
- ・ 基準がそろふことが大事（委員 D）
- ・ 制服に誇りを持つ、バッチをつける、保護者にも協力してもらう

(8) S I C の各グループの進捗状況報告（教頭）

- ①新教育課程検討 P T ②学習指導 P T ③ I C T 推進 P T
- ④行事検討グループ ⑤広報グループ